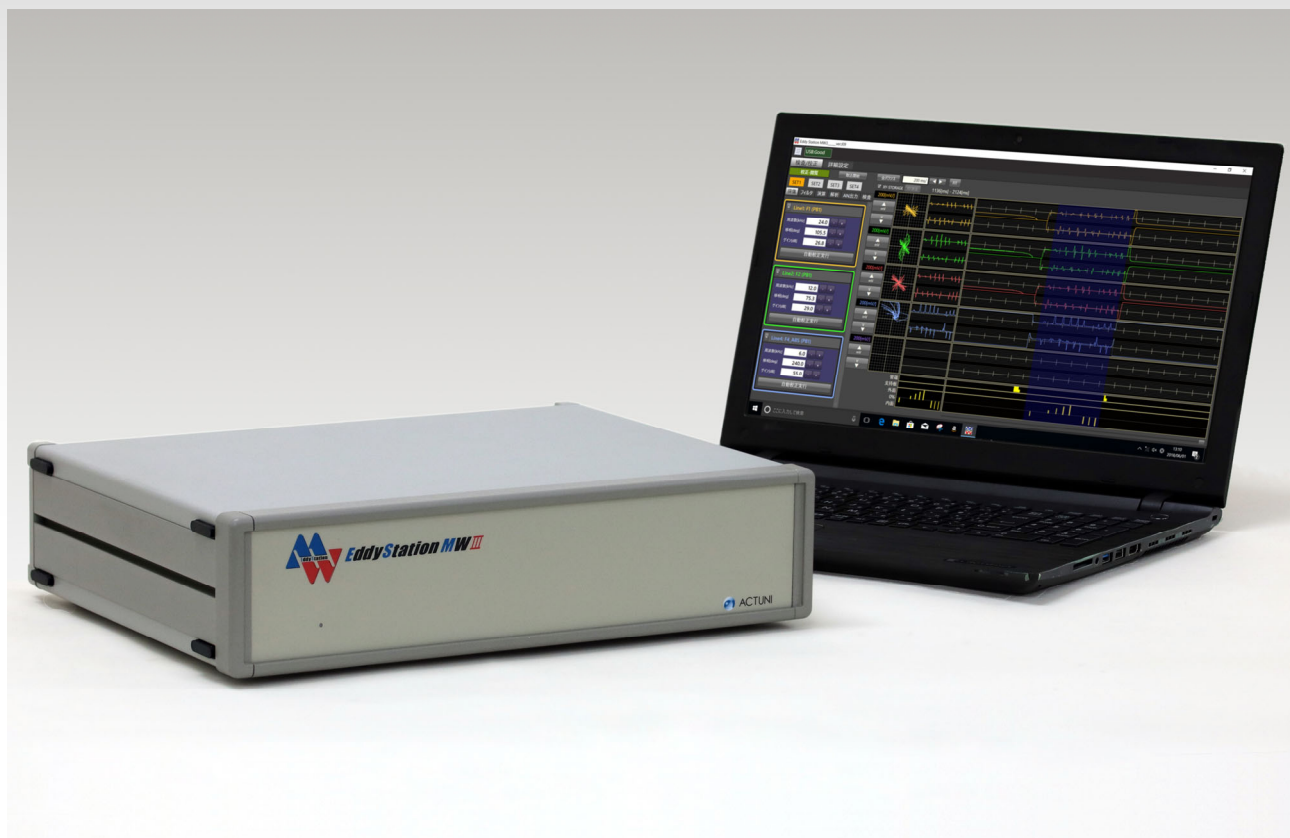


多重周波数／多チャンネル渦電流探傷器

EddyStation MW III

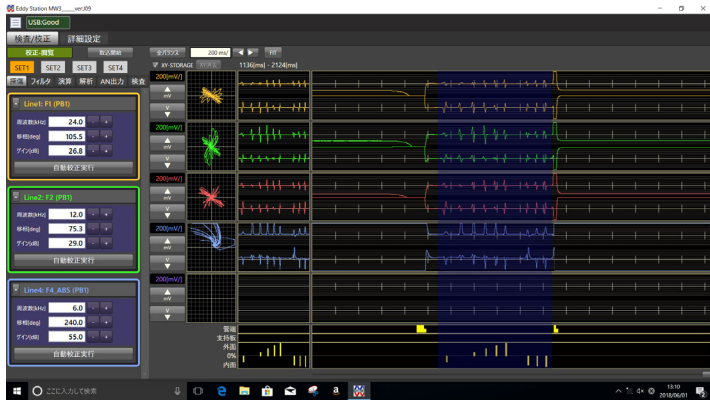
Windowsを搭載したパソコンで操作可能な保守検査用渦電流探傷器



- ☆ Windows搭載の機種に幅広く対応。
- ☆ 最大3重周波数の探傷や、2つのミキシング回路で応用範囲の広い検査が可能です。
- ☆ 最大4チャンネルのセンサを使用して、単独の単周波検査ができます。
- ☆ 各チャンネルは検査に応じてセンサ設定の変更が可能です。
- ☆ 標準比較用センサ(REF.)が不要で、スムーズな検査が可能です。
- ☆ 探傷波形は10kHzでサンプリングされ、最大5チャンネルを同時に表示できます。
また、パソコンのメモリに全ての信号を最大400秒まで保持します。
- ☆ 熱交換器用検査では、ブロック・列・番の配管位置情報に連動して検査・解析・収録が自動で行えます。
- ☆ 探傷器を接続しなくても「再生モード」で波形の表示や再解析ができます。

この装置は Windows を搭載したパソコンに USB ケーブルを接続することで操作可能な多重周波数/多チャンネル型の渦電流探傷器です。マウス操作が主体で、初めてお使いの方も判りやすく短期間でマスターできます。またデータ収集後に、位相角度や振幅値も表示でき、報告書が簡単に作成できます。

■基本画面



■設定パネルの上部はタブ形式でページを切り替えるようになっています。各ページで探傷器の設定や位相解析の条件を設定することができます。

■上の画面では設定パネル・XY表示・VT拡大表示及びVT表示を同時に表示していますが、表示設定で設定パネルやXY表示・VT拡大表示を非表示にすることで記録計のように右から左に波形が流れていく表示も可能です。

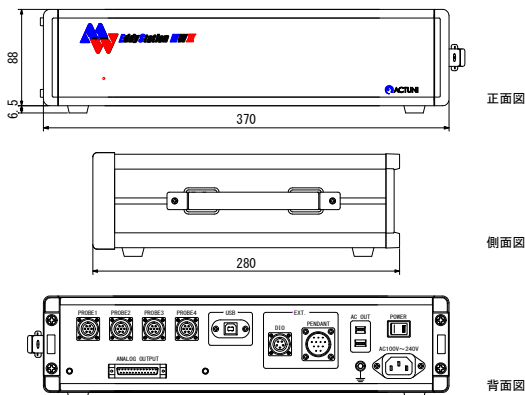
■Windows で使用できる記録媒体に収集した波形データや探傷条件をすべて一元的に管理できます。

■管列番に連動した検査ではセンサの抜き差しで自動的に管端を検出して位相解析と波形記録を行います。

■自由なセンサ設定が可能で、以前より多彩な検査ができます。(オプション)

Windows は、Microsoft 社の米国またはその他の国における登録商標です。

■外観

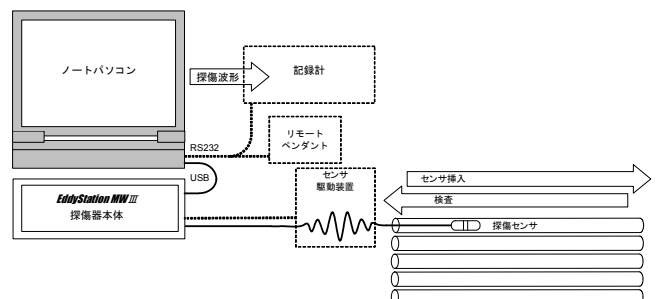


■仕様

型式	EddyStation MW III
チャンネル数	単周波励磁で最大 4ch
検査方式	電磁誘導法
コイル形式	自己誘導 / 相互誘導
励磁方式	時分割励磁で最大3重周波数(10Vp-p)
試験周波数	0.5kHz~2000kHz(100Hz ステップ)
感度設定	0dB~+80dB (0.1dB ステップ)
位相設定	0deg~359.9deg (0.1deg ステップ)
ブリッジバランス	電子式オートバランス、追従切替え式
L.P.F.	50~1000Hz (10Hz ステップ) -24dB/oct.
サンプリング	10kHz
演算	2ch(MIX1、MIX2)
画面レンジ	0.1V、0.2V、0.5V、1.0V、2.0/DIV
アナログ出力	8ch(X,Y出力) DC±10V
制御入出力	接点入力2点(検査開始・予備) フォトプラ絶縁出力2点(管端パルス等)
外部機器	リモートペンダントでブロック・列・番の設定が可能(オプション)
動作環境	周囲温度 5°C~40°C 湿度 10~85%以内(結露なきこと)
外形寸法	W:370 mm H:94.5 mm D:280 mm (突出部含まず)
重量	約 4.9kg (本体のみ)
電源	単相 AC100 V~240 V ±10% 50/60 Hz 40 VA

*記載の仕様は予告なく、変更することがあります。 2018年12月発行

■構成



ACTUNI株式会社

本社 〒559-0031 大阪市住之江区南港東 8-2-25
 TEL:06(6612)8502 FAX:06(6612)8504
 東京営業所 〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-9-17
 スリーセブンビル 7F
 TEL:03(5835)3741 FAX:03(5835)3742

URL <http://www.actuni.co.jp/>
 旧社名 ユニ電子工業株式会社